

# ニュージーランドでホームステイ 第12回中学生海外派遣団帰国

8月6日から14日までの9日間、東秩父村中学生海外派遣事業で、東秩父中学校の3年生7名、2年生24名と引率の指導員4名の計35名が、国際交流と海外での異文化を体験するため、ニュージーランドを訪問しました。

6日に成田空港を出発した派遣団員は7日早朝にオークランドに到着後、専用バスで世界的にも珍しい「土ぼたる」が見学できるワイトモに向かいました。生徒たちは神秘的な光景に驚い

ていた様子でした。その後、ロトルアに向かい、ロトルア湖を見学しました。

翌8日には、ニュージーランドの火山、地熱活動・植生等が学べるワイマング火山溪谷でネイチャーガイドと溪谷

を実際に歩き、美しい大自然を肌で感じる事ができたようです。

見学後、オークランドに向かい、その途中、ロングランド酪農ファームに立ち寄り、牛乳の搾乳デモンストレーションを見学しました。

9日から12日の4日間は、オークランド市マヌカウ地区にあるホーウィックインターミディエイトスクールで

の歓迎式と文化交流、パディ（学校と一緒に行動する生徒）とともに



▲ホーウィックインターミディエイトスクールでのウエルカムセレモニーで秩父音頭を披露



▲ホームステイ先のパディと対面

に、それぞれの教室で授業に参加、そしてホームステイを体験するという、期待と不安の日々を過ごしました。

歓迎式では、生バンドによる演奏や歌での盛大な歓迎を受けました。こちらからは両国国歌の斉唱、「さくらさくら」のリコーダーによる演奏と「東秩父中学校校歌」、「ふるさと」の合唱を行い、さらに秩父音頭や

コマなどを披露し、相互交流を深めることができました。9日と10日の授業体験では、各団員が積極的にコミュニケーションを図り、有意義な時間となったようです。

11日、12日はそれぞれのホストファミリーと休日を過ごし、団員は家族の一員として、英語や身振り手振りで家族とのコミュニケーションを図るなど貴重な体験をすることができました。



▲パディと一緒に授業に出席



▲リコーダーによる演奏

13日は、団員の班別自主研修です。各班で事前に計画したオークランド市内の施設コースをリンクバスという公共バスを利用して買い物や観光を楽しみ、思い出に残る一日となりました。村ではこの海外派遣での体験が、参加者自身の今後の学校生活や将来の進路を考えるうえで、大いに役立つことを期待しています。



▲ホストファミリーと記念写真



▲オークランド市内で班別自主研修